



土浦南ロータリークラブ 週報

会長 完賀 浩光 幹事 栗野 哲雄

- 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>
- Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2024～2025年度
国際ロータリーテーマ



堀越泰樹会員撮影

2024年10月15日 12号
2024年10月8日 第2例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|--------------------------|-----------------|----------------------------|-------------------|
| 1. 点 鐘 | 完賀浩光会長 | 7. 委員会報告 | |
| 2. ロータリーソング斉唱
(奉仕の理想) | | 8. ニコニコ BOX の発表 | |
| 3. 来賓紹介 | | 9. 卓 話 | 土浦警察署長 警視 松代栄一様 |
| | 土浦警察署長 警視 松代栄一様 | 10. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 4. 幹事報告 | 栗野哲雄幹事 | 11. 点 鐘 | 完賀浩光会長 |
| 5. 10月お誕生日の会員および配偶者のご紹介 | | 12. ロータリーソング斉唱
(四つのテスト) | |
| | 親睦活動委員会 | | |
| 6. 10月結婚記念日の会員のご紹介 | | | (司会進行 吉田正一 S A A) |
| | 親睦活動委員会 | | |

本日のプログラム

清野宏之 第6分区ガバナー補佐事前訪問, 栗野幹事よりガバナー公式訪問スケジュール説明, その後杉田米山記念奨学生カウンセラーより「米山月間」についての卓話でございます。

次週のプログラム

10月22日(火)の例会は、大高司郎ガバナー公式訪問日です。全員参加でお迎え致しましょう。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
87	60	4	72.29	10	9・12	11	85.54

【委員会報告】

国際奉仕委員会

君山 毅 委員長

今週、出発となります大甲ロータリークラブ訪問ですが、改めて、注意事項を申し上げます。ロータリーバッジ・スーツ・ネクタイ・土産品・パスポートのご用意をお忘れなくお願い致します。尚、ネクタイ交換などが行われる場合がありますので、高級品や思い出の品着用にご注意下さい。

60周年のPRのキャラバンの役目もしっかり行いたいと思います。

米山記念奨学委員会

大島 三郎 委員

米山記念奨学会の特別寄付を再度お願いいたします。皆様のテーブルに青い用紙がございますので、お一人2万円以上の協力をお願い致します。皆様のご協力により、米山奨学生が育っていきますので宜しくお願い致します。

野球同好会

塚原 靖二 土浦南RC野球同好会監督

10月6日に地区の親善野球大会が開催されました。当クラブは土浦ロータリークラブと合同チームで参加いたしました。成績は準優勝となりました。参加された方、応援においで下さった方、ありがとうございました。



【来賓卓話】

巡回連絡を活用したディフェンス力の強化について

土浦警察署長 警視 松代 栄一様



土浦南ロータリークラブの皆様方には、平素より警察行政の各般にわたり、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

それでは、現在、県警察が最重要施策として取り組んでおります、「巡回連絡を活用したディフェンス力の強化について」説明いたします。

この施策は、県民の皆様が犯罪被害に遭わないようにするため、県民の皆様御自身のディフェンス力の強化を図るものであります。

県内の犯罪情勢を見ますと、高齢者を狙ったニセ電話詐欺が後を絶たないこと、交通情勢では交通事故死者数の過半数を高齢者が占めていること、夜間の歩行中に交通事故で亡くなった方全員が反射材を着用していなかったことなどから、県警察では、昨年6月から1年間、「巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策」を推進したところであります。

また、その結果や治安情勢を踏まえ、本年の6月から、巡回連絡の働きかけの対象を、県内の全世帯に拡大し、3年で一巡することとしております。

本日は、昨年6月から推進しました「巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策」の概要や取組結果、本年6月から推進しております施策の概要等について説明いたします。

第1は、「巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策」についてです。

この取組は、制服の警察官が県内の高齢者世帯を一軒一軒訪問して、身近な犯罪に対する防犯対策や交通事故防止対策を直接働きかけることで、犯罪被害や交通事故に遭いやすい高齢者の安全を確保しようとしたものであります。

期間は、昨年6月1日から今年の5月31日までの1年間で、県内の高齢者世帯約53万世帯を一巡することを目標に取り組んだものです。

具体的な働きかけの内容について説明いたします。

一つ目は、「ニセ電話詐欺防止」を目的として、自宅電話にかかってくる詐欺の電話を防ぐために留守番電話設定を働き掛けてきました。

二つ目は、「住宅侵入窃盗防止」を目的に、鍵のかかかっていない出入口や窓を割って自宅に入られることを防ぐために、鍵掛けの徹底や窓への防犯フィルムの取り付けを呼び掛けてきました。

三つ目は、「歩行者事故の防止」を目的に、夜間の交通事故防止に有効な反射材を靴やバッグなどに直接貼り付ける働きかけを行ってきました。

このほか、「防災意識の高揚」を図るために、災害に対する注意喚起や早期避難に対する働き掛けも実施しました。

このように巡回連絡で訪問した高齢者に、警察官が直接説明することで、犯罪被害や交通事故に対するディフェンス力の向上を図ったものであります。

昨年6月から開始して、1年となる本年5月末現在で、県内の約49万3,000世帯を訪問し、実施率は92.9%となりました。

土浦警察署管内における巡回連絡の実施状況は、1年間に約3万3,000世帯を訪問し、実施率は96%となりました。

次に県内における取組の成果を個別の対策ごとに御説明いたします。

1点目は、ニセ電話詐欺防止対策についてです。

県内の約29万世帯の留守番電話設定を実施した結果、ニセ電話詐欺については、-25.8%と全国の-6.3%と比べても大幅に減少しています。

2点目は、住宅侵入窃盗対策についてです。

県内は、昨年6月の134件をピークに、この取組を開始してからは減少傾向となり、本年5月中は83件に押さえ込むことができました。本年5月末現在は453件と、対前年同期比で64件減少しています。

特に、夜間住民が寝ている間に居宅内に侵入する窃盗「忍込み」は、無施錠での被害が大きく減少しており、常時鍵かけの意識が県民に浸透してきた成果が現れているものと考えており

ます。

3点目は、自動車盗防止対策についてです。

自動車盗は、昨年6月の83件をピークに減少傾向となり、本年5月末では229件と前年同期比で30件減少しています。

4点目は、歩行者事故防止対策についてです。

夕暮れや夜間の交通事故の防止に有効な反射材を、約21万人に対して貼付する活動を実施するとともに、横断歩行者妨害の取締りも強化した結果、信号機のない横断歩道における交通事故が減少しています。

全国の状況と比較しますと、死亡・重傷事故となった事故が全国では、ひと月あたり76.3件と対策前後の期間で増減がなかったのに対し、本県では対策前が3.3件、対策後が1.1件で-66.7%と大きく減少しています。

5点目は、防犯アプリ「いばらきポリス」の利用促進についてです。

同スマートフォンアプリのダウンロード数は、対策前の昨年5月には、2万8,000件でしたが、本年5月末現在では16万1,000件を突破しています。

その結果、人口当たりのダウンロード率は全国トップクラスになっています。

このアプリは、県内の犯罪発生状況を地図で見ることができたり、防犯情報や事件検挙情報などについても配信していますので、まだダウンロードされていない方は是非ダウンロードをお願いします。

6点目は、適正な避難・防災意識の向上についてです。

巡回連絡において防災意識を向上させるための説明をしてきたほか、地域住民が集まる会合などにも参加し、本年5月末までに1,100回・延べ6万4,670人に対して防災講話を行っています。

次に、土浦警察署管内の取組成果を御説明いたします。

1点目は、ニセ電話詐欺被害防止対策についてです。

当署管内についても、ニセ電話詐欺の認知件数が-75.8%と大きく減少しています。

2点目は、住宅侵入窃盗対策についてです。

本年の2月頃までは前年とほぼ同数でしたが、3月と4月に大幅に増加したため、増加しています。

3点目は、自動車盗防止対策についてです。

自動車盗についても抑止に至らず12件増となっています。

4点目は、歩行者事故防止対策についてです。

対策前にひと月当たり0.6件の発生でしたが、対策後は本年9月末現在においても、横断歩道における歩行者の死亡事故、重傷事故の発生がないなど、成果が上がっています。

5点目は、「いばらきポリス」のダウンロード数についてです。

対策前である昨年5月の1,641件から、本年5月末現在では6,100件を突破しています。

6点目は、適正な避難、防災意識の向上についてです。

本年5月末までに27回・延べ3,376人に対して防災講話を行っています。

次に、巡回連絡での働き掛けによる県内の好事例を御紹介いたします。事例は、ニセ電話詐欺を未然に防止したものです。

この事例は、警察官が巡回連絡で90歳代の男性方を訪問し、ニセ電話詐欺などの防犯指導を実施していました。

警察官が訪問した数日後、男性方に家電量販店を名乗る男と、警察官を名乗る男らから次々と電話があり、電話が終わった直後に、20歳代の男が「キャッシュカードを受け取りに来た。」などと男性方を訪ねてきました。

この男性は、巡回連絡で警察官から聞いていたニセ電話詐欺の話の思い出し、男に対して、「警察官が立ち会うために来ることになっている。」と咄嗟に伝えたところ、男がその場から逃げるように立ち去っていき、被害に遭うことはありませんでした。

このほかにも、架空請求詐欺を未然に防止した事案、巡回連絡中に体調不良で倒れていた高齢者を救助した事例のほか、「警察官が来てくれてうれしかった。犯罪抑止が期待できる。安心する。これからもまわってほしい。」などの声が寄せられています。

第2は、「巡回連絡を活用した犯罪へのディフェンス力強化対策」についてです。

御説明したとおり、取組の成果が見られた一方で、現在の本県の治安情勢を見ますと、自転車の盗難、SNS型投資詐欺、金属の盗難の認知件数が対前年同期に比べ、それぞれ増加傾向にあります。

これらの犯罪は、説明した取組の対象となっていない犯罪で、高齢者に限らず、幅広い年齢層で被害が生じています。

そこで、本年6月1日から「巡回連絡を活用した犯罪へのディフェンス力強化対策」と銘打ち、これまで取り組んできた高齢者世帯への働き掛けを継続しつつ、対象を県内の全世帯・約123万世帯に拡大し、3年間で一巡することを目標に取り組んでいくこととしたものです。

次に働き掛けの具体的な内容について御説明します。

1点目は、自転車盗対策についてです。

被害の約7割が無施錠であることから鍵掛けの重要性を説明するとともに、被害防止のための二重ロックを推奨しています。

2点目は、SNS型投資詐欺等の防止についてです。

日々変化するパソコンやスマートフォンを利用した詐欺の新しい手口を周知し、注意を喚起しています。

3点目は、金属盗に関する情報提供依頼についてです。

太陽光パネルの銅線を狙った金属盗などが多発している現状を踏まえ、見かけた不審者や犯行を敢行する傾向の強い不法滞在外国人などに関する情報提供を呼び掛けています。

このほかにも自動車盗防止について、犯罪者に狙われやすい車種や流行している手口を教示して、ハンドルロック等の防止対策を推奨しております。

警察としましては、この取組を組織一丸となって推進し、県民全体のディフェンス力の強化

を図り、安全安心の確保に努めてまいります。

結びに、警察では、現在、県内全世帯の巡回連絡を行っておりますので、今後皆様の御家庭や御友人の御家庭を訪問することがございます。

今後とも警察活動への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

